

- 令和3年度は、環境の縦断的連続性再生の取り組みとして「櫛田第一・第二頭首工の試験モニタリング調査」を行うとともに、川と地域とのつながりの再生の取り組みとして「外来魚対策」の活動支援等を実施します。
- 「技術専門部会」は、自然再生モニタリング調査結果を基に、**櫛田第二、第一頭首工魚道の必要な改良**（機能の低下箇所、迷入対策、底生魚遡上対策等）の検討を継続します。また、**第二頭首工の水叩き遡上対策の試験施工**や**外来魚コクチバスの魚道遡上調査・対策検討**を実施します。
- 「地域連携専門部会」は、外来魚[コクチバス等]に関する調査や対策等の取り組みを進めます。なお、河川利用やアユ産業等地域活性については、地域での取り組みに応じて、コア会議を中心に適宜実施します。
- 「推進会議」は、技術専門部会、地域連携専門部会での調整・検討事項を報告する場として、次年度も開催を予定します。

年度	推進会議	技術専門部会	地域連携専門部会	取り組み内容	モニタリング調査・検討	工事
H27	第1回 (H28.2.3)	第1回 (H28.2.3)	—	・技術専門部会設置	・試験施工(新屋敷取水堰)、自然再生モニタリング ・新屋敷取水堰改良案の検討	
H28	第2回 (H28.7.5)	第2回 (H28.11.30)	第1回 (H28.7.5) 第2回 (H28.2.8)	・地域連携専門部会設置 ・「川と地域をつなぐ再生の取り組み」の作成 ・新屋敷取水堰魚道改良設計	・試験施工(櫛田可動堰)、自然再生モニタリング ・櫛田可動堰試験モニタリング現地見学会(H28.7.12)	堰下流河道部の改良工事 新屋敷取水堰の左岸魚道の 新設工事
H29	第3回 (H29.8.1)	第3回 (H29.11.29)	第3回 (H29.11.29)	・地域連携専門部会コア会議の設置 ・ コア会議の取り組み ○河川利用コア会議(H29.11.10) ○外来魚対策コア会議(H29.11.10) ○コクチバス生息場調査(冬季調査)	・試験施工(櫛田可動堰)、自然再生モニタリング ・櫛田可動堰魚道の改良案の検討 ・河川利用に関する検討(両郡地区) ・コクチバスに関する調査 ・新屋敷取水堰改築等の見学会(H30.3.7)	新屋敷取水堰の 中央魚道の改良工事
H30	第4回 (H31.2.7)	第4回 (H31.2.7)	—	・ コア会議の取り組み ○河川利用(両郡周辺地区)コア会議 (H30.12.13、H31.1.23) ○外来魚対策コア会議(H30.12.19) ○アユ産業等地域活性コア会議(H30.12.19)	・試験施工(櫛田可動堰、櫛田第二頭首工) ・自然再生モニタリング、頭首工魚道の課題検討 ・コクチバスに関する調査 ・河川利用に関する検討(両郡地区)	
R1	第5回 (R2.2.7)	第5回 (R1.12.19)	—	・ コア会議の取り組み ○コクチバス産卵状況調査(R1.5.15) ○外来魚対策コア会議(R1.11.1)	・試験施工(櫛田可動堰、櫛田第二・第一頭首工)、 ・自然再生モニタリング、頭首工魚道の課題検討 ・コクチバスに関する調査	
R2	第6回 (R3.3) ※書面報告 にて実施	第6回 (R3.1.12)	—	・ コア会議の取り組み ○コクチバス産卵状況調査(R2.5.8、11) ○外来魚対策コア会議(R2.10.13) ○試験捕獲(R2.5.12、R2.12.23-24)	・試験施工(櫛田可動堰、櫛田第二・第一頭首工) ・自然再生モニタリング、頭首工魚道の課題検討 ・コクチバスに関する調査 産卵場調査(R2年5月)、生息分布調査(R2年8月)、 冬季生息場調査(R2年12月)	
R3 以降	第7回～ (概ね1回/年)	第7回～ (概ね1回/年)	地域連携の取 組みの内容に応 じて実施	・地域連携の取り組みは、コア会議を中心に 適宜実施	・試験施工(櫛田可動堰、櫛田第二・第一頭首工) 自然再生モニタリング、頭首工魚道の改良検討 ・コクチバスに関する調査 産卵場調査(R3年5月)、生息分布調査(R3年8月)、 魚道遡上調査(R3年8月)、試験捕獲等(適宜)	